

人工知能（AI）を活用した 新たな配送システムを開発・導入しました。

中橋商事(株)では、商品の配送にかかる人員や時間を最小限に抑え、
配送業務に従事する社員の労働時間を「見える化」し、
今後、深刻化するドライバー不足に対応するため、
配送先の件数や商品の数などをもとに人工知能（AI）で最適な配送ルート
自動的に作成するシステムを開発し、導入しました。

(システムの運用状況)

- 試験運用開始／2月1日から
- 本格運用開始／3月1日から

日本経済新聞 2020年(令和2年)2月13日(木曜日)

配送ルートAIで作成

コメ卸の中橋商事 人員・時間 最小限に

北陸全宇都都の中橋商事(石川県津幡町)は、卸売の件数や商品の数などをもとに人工知能(AI)で最適な配送ルートを自動作成するシステムを導入した。配送にかかる人員や時間を最小限にしてドライバーの労働時間を「見える化」し、人手不足をカバーする。3月から運用し、配達担当の社員1人あたりの労働時間が1日約1時間の削減を達成した。

新システムは、AIを時間に応じて配送ルートを組む。1日の配達ルートに優先順位を付け、ドライバーの負担が最小限になるよう、距離・先への予想到着時間を考慮し、先方への到着時刻を自動で指定する。

ドライバーは慢性的な人手不足(石川県内の有効求人倍率)を背景に、自動車の運転業務に比べて、先方への到着時刻を自動で指定する。条件を指定すれば、配送ルートを自動的に作成し地図に表示する。

ドライバーは慢性的な人手不足(石川県内の有効求人倍率)

自動車の運転業務

全業

2015 16年 17年 18年 19年

(注)いずれも12月時点 (出所) 石川労働局

条件を指定すれば、配送ルートを自動的に作成し地図に表示する。

この内容は、2月13日に掲載されました日本経済新聞でも紹介されました。

労働時間を「見える化」し、ドライバーの負担を軽減する。AIが最適なルートを作成し、ドライバーの労働時間を最小限にする。また、ドライバーの労働状況をリアルタイムで把握し、人手不足に対応するための対策を講じる。中橋商事は、このシステムを導入することで、配送業務の効率化を図るとともに、ドライバーの働きやすさを向上させることを目指している。

中橋商事は、このシステムを導入することで、配送業務の効率化を図るとともに、ドライバーの働きやすさを向上させることを目指している。また、このシステムは、他の業界にも応用が利くため、将来的にはさらなる普及が期待されている。

（前田 悠）

